

穂垂米栽培管理暦(平成30年版)

月	4月		5月			6月			7月			8月			9月			10月																																		
旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬																																		
生育 ステージ	播種期		移植期			有効分げつ終止期			幼穂形成期			出穂期			成熟期																																					
水管理			コシヒカリ 5/10~20 ひとめぼれ 5/15~25 浅水			最高分げつ期 中断灌水 中干し			湛水管理(ため込まない) 中断灌水			8/1~10 落水 (収穫7~10日)																																								
施肥	<p>※除草剤散布3~4日間は、湛水を保ち、7日間は止水する。</p> <p>果穂里スペシャルの施用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種</th> <th colspan="3">成分(%)</th> <th rowspan="2">基肥</th> <th rowspan="2">N</th> <th rowspan="2">P</th> <th rowspan="2">K</th> </tr> <tr> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コシヒカリ</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>60~70</td> <td>4.2~4.9</td> <td>1.8~2.1</td> <td>0.6~0.7</td> </tr> <tr> <td>ひとめぼれ</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>70~80</td> <td>4.9~5.6</td> <td>2.1~2.4</td> <td>0.7~0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施用時期は田植前2週間~入水前とし、散布後軽く耕起する</p> <p>○食味値の目標:80%以上</p>																		品種	成分(%)			基肥	N	P	K	N	P	K	コシヒカリ	7	3	1	60~70	4.2~4.9	1.8~2.1	0.6~0.7	ひとめぼれ	7	3	1	70~80	4.9~5.6	2.1~2.4	0.7~0.8							
品種	成分(%)			基肥	N	P	K																																													
	N	P	K																																																	
コシヒカリ	7	3	1	60~70	4.2~4.9	1.8~2.1	0.6~0.7																																													
ひとめぼれ	7	3	1	70~80	4.9~5.6	2.1~2.4	0.7~0.8																																													
	<p>病虫害防除体系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時期</th> <th rowspan="2">対象病虫害</th> <th colspan="2">基幹防除</th> </tr> <tr> <th>薬剤名</th> <th>成分回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種子消毒</td> <td>いもち病、ばか苗病</td> <td>温湯消毒又は テクリートCフロアブル</td> <td>0 (2)</td> </tr> <tr> <td>箱施用剤</td> <td>いもち病、ウカ類等</td> <td>スタウトダントツ箱粒剤</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>除草剤①</td> <td>田植前</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>除草剤②</td> <td>田植後</td> <td>ビクトリーZ1 キロ粒剤又は、 ガンガン1 キロ粒剤</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>穂ばらみ期</td> <td>穂いもち</td> <td>コラトップ粒剤5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>穂揃期</td> <td>穂いもち、カメムシ</td> <td>ビームエイトスタークルゾル</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>7~9</td> </tr> </tbody> </table> <p>補完防除を行う場合は、JAに相談し成分回数を超えないように留意する。 ○農薬使用成分:10成分以下</p>																		時期	対象病虫害	基幹防除		薬剤名	成分回数	種子消毒	いもち病、ばか苗病	温湯消毒又は テクリートCフロアブル	0 (2)	箱施用剤	いもち病、ウカ類等	スタウトダントツ箱粒剤	2	除草剤①	田植前			除草剤②	田植後	ビクトリーZ1 キロ粒剤又は、 ガンガン1 キロ粒剤	2	穂ばらみ期	穂いもち	コラトップ粒剤5	1	穂揃期	穂いもち、カメムシ	ビームエイトスタークルゾル	2	合計			7~9
時期	対象病虫害	基幹防除																																																		
		薬剤名	成分回数																																																	
種子消毒	いもち病、ばか苗病	温湯消毒又は テクリートCフロアブル	0 (2)																																																	
箱施用剤	いもち病、ウカ類等	スタウトダントツ箱粒剤	2																																																	
除草剤①	田植前																																																			
除草剤②	田植後	ビクトリーZ1 キロ粒剤又は、 ガンガン1 キロ粒剤	2																																																	
穂ばらみ期	穂いもち	コラトップ粒剤5	1																																																	
穂揃期	穂いもち、カメムシ	ビームエイトスタークルゾル	2																																																	
合計			7~9																																																	
栽培 管理	<p><u>4月の管理</u></p> <p>●育苗 ・種子消毒は温湯消毒又はテクリートCフロアブルで実施。</p> <p>・1箱当り150g(催芽粉)播きで健苗を育成する。 ※温湯消毒は、JA育苗センターで作業が可能。</p> <p>・施肥 果穂里スペシャル(施用量は上記参照)、珪酸加里20kg/10a、ニュートリスマート30~40kg/10aを施用。</p>		<p><u>5月の管理</u></p> <p>●植え付け 植え付け本数は株当り3~5本、株数は㎡当り18株(坪60株)を目安にする。</p> <p>●水管理 浅水管理で分げつの確保に努める。</p> <p>●病虫害防除 ・移植前に箱施薬を実施。(箱粒剤50g/箱)</p> <p>●除草剤 ・ビクトリーZ1kg粒剤 1kg/10a(2成分)</p>			<p><u>6月の管理</u></p> <p>●水管理 6月中旬頃(田植え後1ヶ月を目処)から中断灌水を開始。茎数が株当たり18本程度になったら中干しを行う</p> <p>●発生に注意する病虫害 ・葉いもち ・縞葉枯病(ヒメヒウカ)</p> <p>●追肥 ・カリを追肥として施用する場合(基肥に珪酸加里を施用しない場合は、塩化加里10kg/10aを出穂40日前頃(6月中~下旬)に施用する。</p>			<p><u>7月の管理</u></p> <p>●水管理 中干し後、再度中断灌水を継続し、出穂20日前(7月10日頃)から湛水管理を行う</p> <p>●病虫害防除 ・穂いもち防除のため、出穂10~14日前に粒剤を散布。</p> <p>・カメムシ被害軽減のため、出穂2週間前(7月15~20日頃)を目安に畦畔雑草を刈る</p> <p>●発生に注意する病虫害 ・葉いもち ・紋枯病 ・コブノメイガ</p>			<p><u>8月の管理</u></p> <p>●水管理 落水は収穫10日前(8月25日頃~)とし、<u>出穂20日後までは湛水管理を継続する</u></p> <p>●病虫害防除 ・穂揃い期(8月上~中旬)に穂いもち、カメムシの基幹防除を実施 無人ヘリ防除又は(液剤) ビームエイトスタークルゾル(2成分) 1000倍液 60~150ℓ/10a(粉剤) ビームスタークル粉剤5DL(2成分) 3kg/10a</p>			<p><u>9月の管理</u></p> <p>●収穫 通常、出穂期から35~40日で収穫期となる。刈り遅れとならないよう、青味粃が10~15%程度になったら収穫を開始する</p>			<p><u>10月以降の管理</u></p> <p>●収穫後の作業 収穫後は、土壤改良資材や堆肥を投入し、年内にほ場を耕起する。排水不良田では、冬期間の滞水を防止するため、ほ場周囲に明きよを設ける</p>																																		
	<p>土づくり(10月以降)施用例 ① 堆肥の投入 ② 土壤改良資材の投入 ・ミネラルGF100~200kg/10a</p>																																																			

穂垂米栽培管理暦(平成29年版)

月	4月		5月			6月			7月			8月			9月			10月																																																																																		
旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬																																																																																		
生育 ステージ	播種期		移植期			有効分けつ終止期			幼穂形成期			出穂期			成熟期																																																																																					
水管理			コシヒカリ 5/10~20 ひとめぼれ 5/15~25			最高分けつ期			8/1~10			落水 (収穫7~10日)																																																																																								
			浅水			中断灌水			中干し			湛水管理(ため込まない)			中断灌水																																																																																					
施肥			<p>※除草剤散布3~4日間は、湛水を保ち、7日間は止水する。</p> <p>果穂里の施用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種</th> <th colspan="3">成分(%)</th> <th rowspan="2">基肥</th> <th rowspan="2">N</th> <th rowspan="2">P</th> <th rowspan="2">K</th> </tr> <tr> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コシヒカリ</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>60~70</td> <td>4.2~4.9</td> <td>1.8~2.1</td> <td>0.6~0.7</td> </tr> <tr> <td>ひとめぼれ</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>70~80</td> <td>4.9~5.6</td> <td>2.1~2.4</td> <td>0.7~0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施用時期は田植前2週間~入水前とし、散布後軽く耕起する</p>			品種	成分(%)			基肥	N	P	K	N	P	K	コシヒカリ	7	3	1	60~70	4.2~4.9	1.8~2.1	0.6~0.7	ひとめぼれ	7	3	1	70~80	4.9~5.6	2.1~2.4	0.7~0.8	<p>病害虫防除体系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時期</th> <th rowspan="2">対象病害虫</th> <th colspan="2">基幹防除</th> <th colspan="2">補完防除</th> </tr> <tr> <th>薬剤名</th> <th>成分回数</th> <th>薬剤名</th> <th>成分回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種子消毒</td> <td>いもち病、ばか苗病</td> <td>温湯消毒又は テクリートCフロアブル</td> <td>0 (2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱施用剤</td> <td>いもち病、ウカ類等</td> <td>スタウトダントツ箱粒剤</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>除草剤①</td> <td>田植前</td> <td></td> <td></td> <td>アルハーブフロアブル</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>除草剤②</td> <td>田植後</td> <td>ビクトリーZ1キロ粒剤</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>穂ばらみ期</td> <td>穂いもち</td> <td>コラトップ粒剤5</td> <td>1</td> <td>紋枯病多発田は、コラトップ リンハー粒剤へ変更</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>穂揃期</td> <td>穂いもち、カメムシ</td> <td>ビームエイトスタークルゾル</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>7~9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>補完防除を行う場合は、JAに相談し成分回数を超えないように留意する。</p>			時期	対象病害虫	基幹防除		補完防除		薬剤名	成分回数	薬剤名	成分回数	種子消毒	いもち病、ばか苗病	温湯消毒又は テクリートCフロアブル	0 (2)			箱施用剤	いもち病、ウカ類等	スタウトダントツ箱粒剤	2			除草剤①	田植前			アルハーブフロアブル	1	除草剤②	田植後	ビクトリーZ1キロ粒剤	2			穂ばらみ期	穂いもち	コラトップ粒剤5	1	紋枯病多発田は、コラトップ リンハー粒剤へ変更	2	穂揃期	穂いもち、カメムシ	ビームエイトスタークルゾル	2			合計			7~9															
品種	成分(%)			基肥	N		P	K																																																																																												
	N	P	K																																																																																																	
コシヒカリ	7	3	1	60~70	4.2~4.9	1.8~2.1	0.6~0.7																																																																																													
ひとめぼれ	7	3	1	70~80	4.9~5.6	2.1~2.4	0.7~0.8																																																																																													
時期	対象病害虫	基幹防除		補完防除																																																																																																
		薬剤名	成分回数	薬剤名	成分回数																																																																																															
種子消毒	いもち病、ばか苗病	温湯消毒又は テクリートCフロアブル	0 (2)																																																																																																	
箱施用剤	いもち病、ウカ類等	スタウトダントツ箱粒剤	2																																																																																																	
除草剤①	田植前			アルハーブフロアブル	1																																																																																															
除草剤②	田植後	ビクトリーZ1キロ粒剤	2																																																																																																	
穂ばらみ期	穂いもち	コラトップ粒剤5	1	紋枯病多発田は、コラトップ リンハー粒剤へ変更	2																																																																																															
穂揃期	穂いもち、カメムシ	ビームエイトスタークルゾル	2																																																																																																	
合計			7~9																																																																																																	
栽培 管理	<p>4月の管理</p> <p>●育苗 ・種子消毒は温湯消毒又はテクリートCフロアブルで実施。</p> <p>・1箱当り150g(催芽糶)播きで健苗を育成する。 ※温湯消毒は、JA育苗センターで作業が可能。</p> <p>・施肥 果穂里(施用量は上記参照)、珪酸加里20kg/10a、ニュートリスマート30~40kg/10aを施用。</p>		<p>5月の管理</p> <p>●植え付け 植え付け本数は株当り3~5本、株数は㎡当り18株(坪60株)を目安にする。</p> <p>●水管理 浅水管理で分けつの確保に努める。</p> <p>●病害虫防除 ・移植前に箱施薬を実施。(箱粒剤50g/箱)</p> <p>●除草剤 ビクトリーZ1kg粒剤 1kg/10a(2成分)</p>			<p>6月の管理</p> <p>●水管理 6月中旬頃(田植後1ヶ月を目処)から中断灌水を開始。茎数が株当たり18本程度になったら中干しを行う</p> <p>●発生に注意する病害虫 ・葉いもち ・縞葉枯病(ヒメヒウカ)</p> <p>●追肥 ・カリを追肥として施用する場合(基肥に珪酸加里を施用しない場合は、塩化加里10kg/10aを出穂40日前頃(6月中~下旬)に施用する。</p>			<p>7月の管理</p> <p>●水管理 中干し後、再度中断灌水を継続し、出穂20日前(7月10日頃)から湛水管理を行う</p> <p>●病害虫防除 ・穂いもち防除のため、出穂10~14日前に粒剤を散布。</p> <p>・カメムシ被害軽減のため、出穂2週間前(7月15~20日頃)を目安に畦畔雑草を刈る</p> <p>●発生に注意する病害虫 ・葉いもち ・紋枯病 ・コブノメイガ</p>			<p>8月の管理</p> <p>●水管理 落水は収穫10日前(8月25日頃~)とし、出穂20日後までは湛水管理を継続する</p> <p>●病害虫防除 ・穂揃い期(8月上~中旬)に穂いもち、カメムシの基幹防除を実施 無人ヘリ防除 又は (液剤) ビームエイトスタークルゾル(2成分) 1000倍液 60~150ℓ/10a (粉剤) ビームスタークル粉剤5DL(2成分) 3kg/10a</p>			<p>9月の管理</p> <p>●収穫 通常、出穂期から35~40日で収穫期となる。刈り遅れとにならないよう、青味糶が10~15%程度になったら収穫を開始する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土づくり(10月以降)施用例 ① 堆肥の投入 ② 土壤改良資材の投入 ・ミネラルGF100~200kg/10a</p> </div>			<p>10月以降の管理</p> <p>●収穫後の作業 収穫後は、土壤改良資材や堆肥を投入し、年内にほ場を耕起する。排水不良田では、冬期間の滞水を防止するため、ほ場周囲に明きよを設ける</p>																																																																																		